

農産物の環境負荷低減の 取組の「見える化」 中国・四国地区研修会



日時：令和6年11月25日（月）
13時30分から15時まで
会場：広島合同庁舎2号館6階
中国四国農政局広島県拠点
第1会議室
（広島県広島市中区上八丁堀6-30）
主催：農林水産省

Web会議システムを通じての参加も可能。

参加者
募集中

【研修会の内容】

- 1 農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」概要説明
- 2 「見える化」に取り組む事業者からの事例紹介
発表者：(株)モスフードサービス
- 3 温室効果ガスの排出・吸収量と生物多様性保全の取組
の算定シートの入力方法の解説・演習
- 4 質疑

申込はこちら



みる × えらべる = みえるらべる

みえるらべる について

- 消費者に環境への負荷の低減が図られた農産物を選択してもらえよう、「温室効果ガスの削減への貢献度合い」と「生物多様性保全への配慮」を星の数でラベル表示する「見える化」を進めています。

栽培方法	対象品目
露地栽培のみ	米(乾燥調製されたもの)、ほうれんそう、白ねぎ、たまねぎ、はくさい、キャベツ、レタス、だいこん、にんじん、アスパラガス、ばれいしょ、かんしょ、りんご、日本なし、もも、茶(荒茶加工されたもの)
施設栽培のみ	ミニトマト、いちご
両栽培方法ともに対象	トマト、きゅうり、なす、温州みかん、ぶどう



✓ 温室効果ガス削減への貢献

- 栽培情報を用い、生産時の温室効果ガス排出量を試算し、地域の慣行栽培と比較した削減貢献率を算定。

$$100\% - \frac{\text{対象生産者の栽培方法での排出量(品目別)}}{\text{地域又は県の標準的栽培での排出量(品目別)}} = \text{削減貢献率(\%)}$$

- ★ : 削減貢献率5%以上
- ★★ : 削減貢献率10%以上
- ★★★ : 削減貢献率20%以上

✓ 消費者へのわかりやすい表示

- 登録番号数395件(令和6年9月末時点)
- 全国578か所で販売(令和6年9月末時点)

<実証参加者の声>



これまで環境配慮に取り組んだ生産を行ってきたので、わかりやすく伝えることができ、生産者の自信につながった。(生産者)

環境に良いと分かるとお客様に買ってもらえることがあった。(小売事業者)



✓ 生物多様性保全への配慮 ※米に限る

- 生物多様性保全の取組の得点に応じて評価し、温室効果ガスの削減貢献と合わせて等級表示。

- ★ : 取組の得点1点
- ★★ : 取組の得点2点
- ★★★ : 取組の得点3点以上

<取組一覧>

化学農薬・化学肥料の不使用	2点
化学農薬・化学肥料の低減(5割以上10割未満)	1点
冬期湛水	1点
中干し延期または中止	1点
江の設置等	1点
魚類の保護	1点
畦畔管理	1点

有機農業



冬期湛水



お問合せ先 中国四国農政局 生産部 環境・技術課
TEL:086-224-4511(内線 2417、2789)
Email:mieruka_chushi@maff.go.jp



詳しくは
コチラ